

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2016-2017 Rotary International District 2560



国際ロータリー第 2560 地区 2016-2017 年度

ガバナー月信
2016.10.01 Vol. **4**

CONTENTS

ガバナーメッセージ	1	IM 報告 ー第2・5・6分区ー	9
米山月間によせて	2	新発田城南 RC 創立 50 周年記念式典	12
米山記念奨学生親睦交流会報告	3	新入会員紹介・訃報	13
第1回米山記念奨学委員長セミナー報告	4	会員数および出席報告	14
第1回ロータリー財団セミナー報告	5	コーディネーターNEWS	15
国際奉仕フォーラム報告	6	ハイライトよねやま	16
新保ガバナーエレクト事務所開所式	7	米山梅吉記念館便り	18
第1回 GETS 報告	8	ロータリー文庫通信	19

2016-17 年度 ガバナー 田中 政春

田中ガバナー事務所 〒940-2108 長岡市千秋 1-253-3 ベルダンビル 1F

TEL : 0258-86-6236 FAX : 0258-86-7068 E-mail : m.tanaka@rid2560niigata.jp

奉仕のもとに集う

国際ロータリー第2560地区
2016 - 17 年度 ガバナー
田中 政春（長岡西 RC）



四季折々の中で自然は、時に激しく、私たちに何かのメッセージを伝えようとしているのでしょうか。過ぎ去った夏から初秋にかけて、次々と台風が日本列島を直撃しました。この台風の豪雨災害により、北海道や東北地方を中心に大きな被害に遭われた地域の皆様には心よりお見舞い申し上げます。

さて10月を迎え、私のガバナー年度がスタートをして3ヶ月が過ぎました。公式訪問も約半数のクラブ訪問を終え、ロータリーの活動について多岐にわたる意見交換を行い、多くの会員の皆様と交流することができました。私自身、これまでの公式訪問を振り返り、ジョン F. ジャーム RI 会長の方針が浸透しているか、目標とクラブ活動の取組み状況はどうか等を見直し、引き続き、ロータリーの基本に学ぶ大切さを説き、今後の公式訪問がより意義深いものになるよう努めていかなければならないと感じています。

また、10月は「米山月間」です。地区における米山記念奨学事業は、長年この事業活動に携わっておられる米山記念奨学委員会の田中雅史委員長のリーダーシップにより、年間通じて活発に活動が行われています。去る9月には、奨学生との交流会や米山委員長セミナーが開催され、米山記念奨学事業を身近に感じることができました。皆様もこの機会に寄付金への協力とともに、意義ある米山奨学事業についての再認識を図って頂きたいと思います。

そして、いよいよ今年度、最も大きな行事である地区大会が1ヵ月後に迫ってまいりました。RI 会長代理として、2005-2006 年度第 2840 地区ガバナーを務められました前橋 RC の曾我隆一様ご夫妻をお迎えし、小千谷 RC の佐々木昌敏パストガバナーご夫妻にエイドを務めていただく運びとなりました。

ジョン F. ジャーム RI 会長は述べています。

「ロータリー全体の発展を望むなら全員が同じ方向に進まなければならない。」

どうか来たる地区大会が、ロータリアンの心をひとつにして、奉仕のもとに集う親交を深める場となり、ロータリー全体、さらには地域の発展へとつながることを切に望みます。皆様を心よりお待ちしております。

米山月間によせて

国際ロータリー第2560地区
米山記念奨学委員長
田中 雅史（新潟南 RC）



日本国内に学ぶ有為の外国人留学生に奨学金を授与することで、その未来に希望の灯を点す米山記念奨学事業。身に染みるロータリー精神で母国と日本との懸け橋となり、世界平和に貢献する人材を育成するという高邁な事業理念は今でも健在です。奨学生をお世話する中で逆に私達ロータリアンが学ぶことも多々あり、その気づきで自らの襟を正すこともできる素晴らしい事業でもあります。

また今年も巡り来る10月の米山月間。民間が運営する国内最大規模のこの奨学事業を理解し推進する為の月間です。本年度は全国で約740名、当地区では21名の奨学生を受け入れています。国籍は8ヶ国、新潟県内9ヶ校の前途洋々たる若者達です。

彼らを実質的にサポートするのはもちろん奨学金ですが、他奨学制度に例を見ない世話クラブ・カウンセラーの存在が大きく、そして強く奨学生を支えています。寄付実績に応じて地区の受入奨学生を増やし、結果としてより多くのクラブでの受入が可能になることもあり、本年の一人当たり寄付額目標を2万円とさせていただきました。

今ここにいて出来る国際奉仕活動米山記念奨学事業に対し、会員諸兄の温かいご支援ご協力を切にお願い致します。



米山記念奨学生親睦交流会報告

国際ロータリー第2560地区

米山記念奨学生・学友委員長 原 正(新潟南 RC)

去る9月4日から5日にかけて米山記念奨学生親睦交流会が開催されました。

当日は35℃を超える猛暑の中、奨学生・カウンセラー・房(ファン)学友会会長・詹(セン)前学友会会長・地区委員総勢49名の方に参加して頂きました。田中ガバナーにも夜の懇親会に駆けつけて頂きました。

このイベントは、奨学生とカウンセラーとの交流と絆を深める目的で毎年開催しております。加えて奨学生同士の横の繋がりを強化して卒業後も学友としてより積極的に活動をして貰う為に、昨年度から田中委員長肝いりで一泊旅行として開催しております。

当日朝は、新潟駅南口から長岡駅東口を經由して10時30分朝日酒造に向け出発しました。朝日酒造では残念ながら仕込みを見ることは出来ません

でしたが、丁寧な説明をして頂き、奨学生からも「規模の大きさに驚いた」「日本酒に興味があった」「朝日酒造さんが凄かった」などの感想を頂きました。

バスの中で、正しい手水や参拝の仕方を丹治副委員長の指導の下、確りと学び宝徳稲荷大社へ向かいました。拝殿ではちょうど巫女舞の最中で、皆興味津々で見学していました。昼食はわたや本店でへぎそばを堪能し、いざ蓬平温泉和泉屋へ。宿に到着後、急な



階段に汗を拭いながら高龍神社を参拝しました。

アルカリ単純泉の温泉でゆっくりと体を癒やし、いよいよ懇親会です。田中ガバナーの挨拶と田中委員長の乾杯で始まり、奨学生 劉 夢雲(リュウ ムン)さんからカウンセラー 宮嶋正明さんへサプライズのハッピーバースデー大合唱があるなど和気あいあいと

楽しい時間を過ごしました。二次会は、館内のカラオケスナックで行い、奨学生同士で情報交換など有意義に過ごしました。

最後に、田中ガバナーをはじめご協力頂いたロータリアンの皆様、地区米山記念奨学委員会の皆様、深く感謝申し上げます。

今後とも米山記念奨学会にご理解とご協力をお願い申し上げます。

第1回米山記念奨学委員長セミナー

国際ロータリー第2560地区

米山記念寄付増進委員長 石澤 雅弘（栃尾 RC）

9月17日（土）長岡ベルナールにおきまして植木パストガバナーをお迎えし、今年度第1回目の米山記念奨学委員長セミナーを開催致しました。

今回は米山奨学会の「ホームカミング制度」を利用して元米山奨学生で、ベトナムのダナン市計画投資局に勤務のゴ・ゴク・クーン君と当時のカウンセラーで有りました佐藤渉さん（栃尾 RC）を招待し講演をお願いしました。

佐藤さんからは「自然体で気取らず接して来たことやベトナムを訪問した時の話し」などユーモアを交えスピーチして下さいました。

また、クーン君からは「感謝の言葉と大学で研究した地下鉄を将来はダナンに実現させたいことや、日本式の幼稚園を開園し教育に力を入れたい」などの抱負を述べたあと、ベトナムの現状を説明し介護や農業に投資を呼びかけました。

野崎選考委員長からは「奨学生の選考方法について」現状のやり方が説明されました。

その後、体験発表で、現役奨学生（長岡 RC）ヒシグトグトフ、エンフジンさんからは「日本人の気配り、おもてなしの心を母国に伝え、米山奨学生になった事を誇りにこれからも頑張っていきたい」と述べられました。次に学友で新潟経営大学の講師を務めるバロリ・ブレンディさんからは、「日本人の冷静さと礼儀の正しさを勉強させられました。

将来、若者が県内の企業に勤め、優秀な人材が県外へ流出しないような指導にかかわりたい」と締めくくりました。

今回、2560 地区で初めて活用した「ホームカミング制度」は2008年に開設され、1地区2名まで招待出来る制度で、国内外で活躍する優秀な学友から里帰りをしてもらい交流を深め、学友の感謝の心と活躍する姿をスピーチを通じ、多くのロータリアンに米山記念奨学事業の意義を知って頂くための制度の事です。今回、田中委員長の挨拶の中で燕 RC が中学生を対象とした「異文化相互理解セミナー＜異文化＞の冒険ー世界は君を待っている」が開催され、ロータリークラブの活動として誇るべき事業であるとして紹介されましたが、参加した奨学生からも「楽しむことができ、有意義な一日が過ごせた」との声もあり、前向きな事業だと評価できます。

佐藤米山奨学担当幹事は「コミュニケーションの大切さ」に触れられ閉会となりました。



皆様のお蔭をもちまして、2017年度は奨学生の受入が3名増え24名となります。心より感謝を申し上げますと共に今後ともご協力のほどお願い申し上げます。

＜紙面の関係で内容を省略していますこととお詫び致します＞

第1回ロータリー財団セミナー

国際ロータリー第2560地区

ロータリー財団副委員長 後藤 隆生(新潟南 RC)

日時 2016年8月20日

場所 長岡グランドホテル

このセミナーはロータリー財団の活動状況を公開し、より多くのロータリアンに理解を深め浸透して頂くことを目的として、毎年二回開催されています。

今年度は、ロータリーコーポレートの導入ということで、国際ロータリー第2ゾーン、ロータリーコーディネーター 関 博子様をお迎えしロータリーダイナースクラブ コーポレートカードの概要説明をお願いしました。

セミナーでは、各セクションの委員長からの説明と事例発表、体験談等があり大変盛り上がりしました。今後、参加者の皆様が各クラブに持ち帰りメンバーに理解浸透される事を期待したいと思います。

当日の参加者は田中ガバナーをはじめ、地区役員、56クラブの会長、財団委員長の総勢116名参加して頂きました。



内容

- 1 表彰、地区補助金支給承認通知授与、年次基金・総計・一人あたり・上位5クラブ
- 2 地区補助金・奉仕プロジェクト事業及び事例発表
- 3 地区補助金・地区奨学生事業、学友の体験発表、地区奨学生募集スケジュール
- 4 グローバル補助金事業及び事例発表
- 5 財団寄付目標の協力要請及び財団寄付増進事例発表
- 6 ポリオプラス寄付目標達成への協力要請
- 7 ロータリーコーポレートカードの説明
- 8 質疑応答



国際奉仕フォーラムのご報告

国際ロータリー第2560地区

国際奉仕委員長 米山 孝之（長岡 RC）

平成28年8月27日午後1時30分から午後4時過ぎ頃まで、ANA クラウンプラザホテル新潟において、RI 第2560地区2016-2017年度国際奉仕フォーラムを、国際奉仕委員会と青少年交換委員会の共催で実施いたしました。今年度の国際奉仕フォーラムでは、毎年青少年交換委員会が主催している夏期・1年帰国受入学生報告会も同時に開催されたことから、田中ガバナー、新保ガバナーエレクト、山本パストガバナー、各クラブの国際奉仕委員長・青少年交換委員長に加え、派遣学生、受入学生、ホストファミリー、保護者にもご参加いただき、出席者は、総勢85名となりました。国際奉仕フォーラムは、第1部を国際奉仕委員会が、第2部を青少年交換委員会が担当いたしました。国際奉仕委員会が担当した第1部では、国際奉仕委員長である私から、3つの点について話をさせていただきました。第1点目が、今年度の地区国際奉仕委員会の基本方針について、第2点目が、平成28年3月23日から同年4月9日までに実施したアンケート結果について、第3点目が、グローバル補助金についてです。今年度のRIの目標の一つに「財団の補助金と6つの重点分野を通じて、ロータリーの人道的奉仕の質と影響を高める」というものが掲げられておりますので、グローバル補助金の要件と効果についてご説明させていただいた次第です。地区補助金と比べますとグローバル補助金は、要件が厳格で受けられる補助金額の計算も複雑となりますので、利用するには少しハードルが高くなると思いますが、可能な限り多くのクラブに利用していただきたいと思います。青少年交換委員会が担当した第2部では、青少年交換委員会の本間啓介委員長から、青少年交換制度についてご説明いただいた後、夏期派遣学生5名、1年派遣学生1名から派遣先での経験を、1年受入学生2名から派遣元の国や生活の様子を、それぞれご報告いただきました。帰国した派遣学生達は、与えられた報告時間では足りないほど、皆さん熱心に派遣先での様子を報告されており、このプログラムが実り多いものであることを、報告会に参加された方々は感じられたと思います。今年度の国際奉仕フォーラムでは、夏期・1年帰国受入学生報告会を同時開催するという初めての試みを行いましたが、交換学生達の生の声を多くのロータリアンに聞いてもらう機会を持つことができ、良かったのではないかと思います。



新保ガバナーエレクト事務所開所式

国際ロータリー第2560地区

新保年度地区幹事 丹治 芳子（新潟万代 RC）

8月28日、ホテルオークラ新潟で国際ロータリー第2560地区新保清久ガバナーエレクト事務所の開所式が行われました。当日はまだ残暑厳しく、ご参集の皆様方も大変であったと思われます。田中政春ガバナー様をはじめ、パストガバナーの皆様方などの御来賓23名、そして新潟万代ロータリークラブを中心とするガバナースタッフ23名の合計46名のご参加を頂きました。また、田中ガバナー事務所様や山本パストガバナー事務所様などからお花やコーヒー茶碗セット、会計ソフトなどのお祝いを頂戴いたしました。

開所式はまず新保清久ガバナーエレクトの挨拶から始まりました。続いて田中政春ガバナー、直前ガバナー山本和則様、パストガバナー佐々木昌敏様から、大変心のこもったご祝辞を頂戴しました。皆様方、共に「全面的に新保ガバナー年度を支えるので、心配することなく頑張ってください」と力強いお言葉を寄せられ、私共新保年度ガバナースタッフ一同感激し、次年度に向けての決意を新たにいたしました。来賓祝辞の後は私からスタッフの紹介をさせて頂きました。いずれのスタッフの顔にも緊張感の中にも強い決意が感ぜられました。

引き続き、横山パストガバナーの乾杯で、宴会となり、あちこちのテーブルで楽しく歓談する光景が見られました。今まで、私も地区大会をはじめいくつかの会合に参加してきましたが、大会（会合）を設営する立場の大変さが今更のように分かりました。そして、ロータリーの絆の強さを感じました。各テーブルを回ると、皆様方が異口同音に「頑張ってください。何でもするからね」と励ましの言葉をかけて下さいました。「He Profits Most Who Serves Best」（最もよく奉仕する者、最も多く報いられる）

という言葉、そして「Service Above Self」（超我の奉仕）

というロータリーの根本精神を表した言葉をこれほど強く感じたことはありませんでした。祝宴の中締めには、鈴木重彦パストガバナーと共に、わが新潟万代ロータリークラブが誇る中締めの名手、石動竹治氏も登壇し、三本締めで開所式を終えました。

いよいよ新保年度の事務所がスタートします。

新潟万代ロータリークラブは40人に満たないクラブですが、皆様方から受けた励ましとご厚情を深く感謝し、全力を挙げて新保年度をやり抜く覚悟で御座います。現在着々と、次年度の準備を進めておりますが、更なるご協力を心からお願い申し上げます。



第1回ガバナーエレクト研修セミナー (GETS) の報告

国際ロータリー第2560地区

ガバナーエレクト 新保 清久 (新潟万代 RC)

2016年9月5・6日に都内のホテルで開催されたガバナーエレクト研修セミナー (GETS) に夫婦で参加してきました。

斎藤直美 RI 理事、石黒慶一 RI 理事エレクト、北清治 TRF 管理委員、渡辺敏彦 RPIC はじめ GETS 研修チームの方々からガバナーエレクト用プログラム、配偶者用プログラムにそって、二日間にわたり朝から晩までみっちり研修を受けました。

出席したガバナーエレクトにとっては、関係各位の熱い期待に応えなければならないと思わず自覚させられるセミナーでした。

第1日目は、開会セッションの①「招集者及び GETS 研修チームメンバーの紹介」に始まり②「ポリオ撲滅の現況と財団 100 年」③「地区ガバナーの責務」④「2017 年アトランタ世界大会について」⑤「クラブが会員基盤を強化するには」⑥「戦略計画の立案」⑦「会員基盤の充実」⑧「クラブとのコミュニケーション」⑨「地区リーダーシップチーム」⑩「リーダーの育成」⑪「クラブ訪問を最大限に生かす」をテーマに研修チームのリードで同期ガバナーエレクトとワークショップ、アイデア交換を行ないました。

第2日目は、⑫「ロータリー事務局からの支援」⑬「公共イメージ向上のために」⑭「ロータリー財団の概要」⑮「ロータリーの公共イメージ」⑯「財団チームとの協力」⑰「寄付と補助金」⑱「ロータリー米山記念奨学会プログラム」⑲「ロータリー学友からのメッセージ」⑳「国際協議会旅行の説明」

最後に斎藤 RI 理事から「閉会挨拶及び激励の言葉」をいただきプログラムが終了しました。

セッションは、テーマ毎に、34 名のガバナーエレクトと配偶者が合同で受講したり、また、ガバナーエレクトが 17 名ずつ 2 班に分かれて講習を受けたりしました。

このプログラムは、RI が直面する危機感を共有し、中長期的に持続可能なクラブ運営ができるように地区の運営体制、委員会構成、人材育成等々考える上で大変参考になりました。

これから、次年度の準備が始まりますが、田中ガバナーはじめ地区の指導者とよく相談して〔拡大・増強への努力〕〔クラブ、地区の戦略計画の策定〕〔公共イメージの向上〕〔規定審議会 (COL) の理解とクラブへの浸透〕〔リーダー研修の実施〕等の課題に取り組むことにより、ロータリーの持つ可能性を少しでも引き出して微力ながら第 2560 地区の発展に貢献したいと思います。

どうか第 2560 地区の 56 クラブの絶大なるご協力をお願いします。



第2分区 IM 報告

基本を学び、地域とともに

国際ロータリー第2560地区

第2分区ガバナー補佐 馬場 伸行（新潟西 RC）

さる9月3日、ホテルオークラ新潟で、新潟西ロータリークラブをホストクラブとして、155名の参加をいただき盛大に開催いたしました。

IMの目的は分区内の会員が一堂に会してお互いの情報交換と、親睦を深めることされております。

基調講演として、～たかが野球・されど野球～と題してスポーツキャスター深沢 弘先生より講演をいただきました。テーマに掲げた地域とともにプロ野球球団がどのような経営をしているか、また基本を学びでは、往年の名選手である長嶋 茂雄氏との逸話をお話いただきました。まさしく今回のテーマにふさわしい示唆に富んだ内容でした。参加者からは大変好評をいただきました。

また、懇親会の前にはアトラクションといたしまして小島健弘率いる弦楽四重奏の演奏でお楽しみ頂きました。

懇親会では、日頃お会いできない会員とも和気あいあいと楽しいひと時を過ごしました、次年度ガバナー補佐の新潟北クラブ、橋本 栄一郎君に挨拶をいただき会を終了いたしました。

このたびのIMの開催にあたり、ご尽力いただきました実行委員の皆様にご心より厚く御礼を申し上げ報告いたします。



第5分区 IM 報告

自然に奉仕

国際ロータリー第2560地区

第5分区ガバナー補佐 伊丹 敏彦（長岡東 RC）

去る9月11日第5分区のIMを、ホテルニューオータニ長岡にて盛会のうちに終了する事が出来ました。

252名の登録、182名の参加の皆様にご心から御礼を申し上げます。

講演には、この3月まで国土交通省、北陸整備局長であられました「藤山秀章様」をお迎えいたしました。地球温暖化の影響から多発する災害に対し、地震の予知や治水に至る広範な対応を求められる国の現況に官僚と呼ばれる優秀な人達の格闘の姿を想像させていただき事が出来ました。

私達も身近で出来ることと、地域の人達と実践することが大切であると思いました。懇親会の食事でも大変好評をいただきました。

このIMを実践するにあたり、当長岡東ロータリークラブが実行委員長のもと結束して頑張られたのも見えて、とても素晴らしく嬉しく思いました。

さて、田中年度も佳境に入参りました。会員拡充につきましては、第5分区の半数のクラブで目標達成していると聞いておりますが、毎年度末に退会者が出ることを考慮しますと倍数の上積みが必要と思っております。再リストアップをして、年末のクリスマス例会に招待して入会を勧めて下さい。

財団100周年という記念すべき節目の年です。何かと出費があらうかとは思いますが宜しく御協力下さい。

ベネファクター、PHFそれぞれ10名という目標もあります。各分区ごとに2名出れば達成ですが、私自身これがいつ出来たのかも知りませんでした。ガバナー補佐の仕事なのかも知りません。

公式訪問の際、お願いしますので宜しくお願い申し上げます。



第6分区 IM 報告

会員増強と奉仕活動

国際ロータリー第2560地区

第6分区ガバナー補佐 吉田 武彦（小千谷 RC）

2016-17 年度第6分区 IM（Intercity Meeting）は、会員相互の親睦と知識を広め区内6クラブのロータリー情報の共有を図り奉仕理念を学ぶことを目的とし、併せてロータリーの中核となる価値観（親睦、奉仕、多様性、高潔性、リーダーシップ）の「基本を学ぶ」よい機会となることを願い、9月11日（日）13:30～17:50、JA 越後おちやグリーンパークに於いて区内6クラブ93名の参加を得て IM を開催いたしました。また、前日の9月10日（土）秋晴れの小千谷カントリークラブに30名のロータリアンが集い、IM 親善ゴルフ大会を開催いたしました。

IM 本会議は「会員増強と奉仕活動」をテーマとして、開会式では来賓の地区研修リーダー、佐々木昌敏 パストガバナーから IM の意義と本会議への期待についてご挨拶を賜り、ガバナー補佐が IM の目的を説明いたしました。



恒例の基調講演に代えて、高座を設け、柳亭小痴楽（りゅうていこちらく）の落語を楽しんでいただきました。



パネルディスカッションでは、ガバナー補佐がコーディネーターを務め、パネラーのクラブ会長の方々から、「会員増強と

最近の奉仕活動」の報告ならびに貴重なご意見をいただきました。活発に奉仕活動を行っているクラブが、順調に会員数を増やしている状況に、会員増強と奉仕活動との相関を認識することが出来ました。

閉会式の講評では、佐々木昌敏研修リーダーよりロータリー財団の地区補助金の活用と奉仕の本質についてご指導賜り、さらに「よい奉仕活動が会員増強につながる」とご提言をいただきました。

懇親会は、星野輝征（雪国魚沼 RC）ガバナー補佐エレクトの「乾杯」で始まり、友情と親睦を深め、楽しい時を共にすごし閉会しました。



新発田城南 RC 創立 50 周年記念式典

50 周年記念式典実行委員長

小柳 龍史（新発田城南 RC）

1966 年 8 月 18 日に、新発田 RC をスポンサークラブとして発足し、本年で満 50 周年を迎えました。去る 9 月 18 日に 50 周年記念式典を月岡温泉ホテル華鳳にて執り行いました。

当日は、二階堂新発田市長、田中ガバナーはじめ友好クラブである函館亀田 RC、全国城南会参加クラブより東京城南 RC、大阪城南 RC、広島城南 RC、福岡城南 RC の方々、第一分区の各 RC より御臨席をいただきました。

記念式典のスローガンは「50 年を皆でお祝いし、楽しみましょう」とし、これまで新発田城南 RC を支えていただいた先輩会員・歴代会長経験者の功績に感謝を表しました。



記念事業として、28 年 4 月に竣工した新発田駅前複合施設「イクネスしばた」に対し、「ポール型ソーラー時計」を設置寄贈いたしました。（「イクネスしばた」は、新発田市で平成 28 年度にオープンを予定している 3 施設・公園「アイネスしばた」・新庁舎「ヨリネスしばた」・複合施設「イクネスしばた」の一つであり、教育・食育・育児の役割を担う施設であります。）

そして、「皆で楽しいロータリー」で地域に溶け込む RC を目指し、今後 60 周年、そして 100 周年を祝えるよう継続して発展してゆくことを誓いました。

式典ののち、松浜太鼓の音とともに懇親会がはじまり、賑やかな中にも和やかなムードで進行し、最後に参加者全員で、「手に手つないで」を合唱し、閉会いたしました。

本紙面をお借りして、当日お忙しい中ご出席いただき、たくさんの御祝意と激励を頂戴いたしました、RC 並びに会員の皆様に深く感謝を申し上げまして、ご報告いたします。



新入会員 紹介 (敬称略)

RC 名	お名前	入会日	会社名
新 潟	竹内 一樹	2016.08.23	(株)ドコモCS
新 潟	古田 秀衛	2016.08.30	(株)天朝閣グループ
巻	渡邊 喜彦	2016.09.01	マルソー(株)
巻	西川 文夫	2016.09.01	丸喜重量運送(株)
田上あじさい	丸山 記義	2016.08.01	有限会社 丸山オートサービス
柏 崎	渡部 光男	2016.09.07	日立 GE ニュークリア・エナジー(株) 柏崎刈羽現地事務所
柏 崎	水野 諭	2016.09.07	(株)東芝 柏崎刈羽電子力作業所
柏 崎	戸田 明宏	2016.09.07	(株)スワロー
長 岡 西	勝 沼 研	2016.09.01	(有)勝沼さく泉工業
小 千 谷	山崎 光輝	2016.09.01	(有)サンテック
高 田	山田 守	2016.08.05	(株)東北測量設計社
新 井	長谷川 寛	2016.08.31	家' Sハセガワ株式会社
越後春日山	清水 剛	2016.08.18	イベントリップ
越後春日山	太田 恵美子	2016.08.18	有限会社 太田商店
越後春日山	池 亀 孝一	2016.08.18	有限会社 池亀商事



第2560地区 2016-17年度 8月末 会員数および出席報告

R C	例会数	出席率	会 員 数			
			7月1日現在	8月末会員数	うち女性	増減
第1分区(9クラブ)	／	84.15	371	377	38	6
新発田	4	97.93	97	99	0	2
村上	3	81.90	36	36	8	0
水原	4	77.89	25	26	1	1
中条	4	89.58	35	36	3	1
新発田城南	3	84.07	40	40	5	0
豊栄	5	78.51	27	27	3	0
新発田中央	5	80.76	48	48	5	0
中条胎内	3	84.85	33	33	6	0
村上岩船	5	81.88	30	32	7	2
第2分区(9クラブ)	／	82.68	440	452	20	12
新潟	4	88.28	92	98	0	6
新潟東	3	83.03	62	63	8	1
新潟南	4	81.64	97	99	1	2
佐渡	3	76.20	7	7	0	0
新潟西	3	81.63	37	38	1	1
佐渡南	4	85.16	42	42	4	0
新潟北	4	76.40	42	42	0	0
新潟中央	4	81.00	25	25	0	0
新潟万代	4	90.79	36	38	6	2
第3分区(6クラブ)	／	76.54	131	131	8	0
新津	4	72.38	19	19	0	0
村松	4	95.45	10	11	0	1
五泉	3	82.35	18	18	3	0
白根	3	85.71	42	42	3	0
新津中央	4	73.34	31	30	1	-1
阿賀野川ライン	3	50.00	11	11	1	0
第4分区(11クラブ)	／	80.76	362	367	22	5
三条	4	85.70	55	55	0	0
燕	3	68.88	33	35	1	2
加茂	3	96.42	28	28	4	0
三条南	4	90.74	51	51	2	0
分水	4	77.42	32	32	3	0
見附	3	70.00	20	19	1	-1
吉田	3	77.10	32	32	2	0
三条北	4	85.23	65	66	3	1
巻	4	86.80	9	11	0	2
田上あじさい	4	67.80	6	7	1	1
三条東	3	82.22	31	31	5	0

R C	例会数	出席率	会 員 数			
			7月1日現在	8月末会員数	うち女性	増減
第5分区(7クラブ)	／	87.60	313	319	29	6
長岡	3	89.89	40	43	2	3
柏崎	5	79.27	42	43	0	1
長岡東	3	86.33	69	69	8	0
柏崎東	4	88.64	53	55	5	2
栃尾	4	88.75	21	21	0	0
長岡西	2	87.00	52	52	6	0
柏崎中央	3	93.30	36	36	8	0
第6分区(6クラブ)	／	83.29	156	158	11	2
十日町	3	99.01	34	35	3	1
小千谷	3	80.21	40	39	3	-1
雪国魚沼	4	73.80	24	25	4	1
十日町北	4	92.71	23	24	0	1
津南	3	79.01	27	27	1	0
越後魚沼	4	75.00	8	8	0	0
第7分区(8クラブ)	／	81.84	324	330	29	6
高田	3	96.75	61	63	0	2
直江津	4	86.38	51	51	4	0
新井	4	81.60	32	33	3	1
糸魚川	4	71.79	42	42	3	0
高田東	4	78.13	40	40	2	0
糸魚川中央	3	74.07	36	36	0	0
頸北	4	90.40	15	15	1	0
越後春日山	3	75.63	47	50	16	3

クラブ数	56	クラブ
7月1日 会員数	2,097	人
8月末 会員数	2,134	人
女性会員数	157	人
純増減会員数	37	人
当月平均出席率	82.44	%



コーディネーター NEWS

2016年10月号

発行：Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
今月号の担当 Zone 1 RPIC

■ ロータリーの公共イメージ向上のために

ガバナーエレクトとして	ガバナーとして
地区広報委員会の委員長と委員を任命する。	地区とロータリーのスポークスパーソンとなる。
地区広報のために予算を組む。	広報計画を立てるようクラブに奨励する。
クラブを対象とした広報の研修が実施されるよう手配する。	地区のウェブサイトとソーシャルネットワークワーキングサイトが定期的に更新されるよう手配する。
ロータリークラブ・セントラルでクラブが広報目標を立てるよう、ガバナー補佐と協力して確認する。	奉仕プロジェクトの広報を効果的に行う。また、ロータリーショーケースやロータリークラブ・セントラルでプロジェクトの成果を紹介するようクラブに奨励する。

■ クラブ数 会員数

Zone 1	830	28,484
Zone 2	651	27,925
Zone 3	793	32,629
合計	2,274	89,038

(2016年8月19日現在のClub Centralのデータです)

■ BOX登録件数

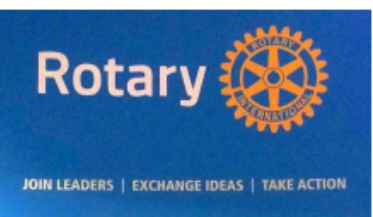
Zone 1	53 件
Zone 2	27 件
Zone 3	79 件

8月19日現在 合計 159 件

■ 2016-17年度ロータリー公共イメージコーディネーターの目標

◎以下のトピック(1つまたは複数)に関する無料メディア掲載(ロータリーが費用を支払わずに外部メディアにより掲載される記事)を、各地区で少なくとも10件確保する。

- 特筆すべきクラブのプロジェクト
- 地元ロータリークラブの支援を受けた人または団体
- 学友
- ロータリークラブ会員とそのボランティア活動の紹介
- 地元のイベント/募金活動
- ポリオ撲滅または6つの重点分野
- 人びとの交流/ネットワークを広げる機会
- 世界ポリオデー
- ロータリーデー
- ロータリーのイベント/財団100周年イベント



ロータリーとは何かを説明するには、この3つのフレーズを使うと一貫性があり、明確に表現する事が出来ます。

様々な「リーダーが集まり」

「アイディアを広げ」

社会のために「行動する」



クラウドストレージの「Box」は、個人向けの無料サービスもあるが、主軸は企業向けの有料サービス。すでに世界4万7000の企業・組織がアカウントを持ち、「フォーチュン500」企業の51%で利用されている。

DIAMOND online より

公共イメージ向上作戦

上記右側囲み欄に、「BOX登録件数」とありますが、これは昨年の10月よりRPIC(公共イメージコーディネーター)が始めた「クラウドBOX」の事です。

クラブや地区が奉仕事業やロータリー活動を行って新聞記事になった場合、その記事を地区経由で「クラウドBOX」に投稿して下さい。それをお互い閲覧することで、情報共有し、その後のロータリーの広報活動のヒント・参考にして頂きたいと思います。又、アンケート形式でのフォーマットがありますので、プロジェクトの概要報告をお願い致します。<rpjicjapan@gmail.com>に「詳細希望」という件名で空メールを送りいただくと投稿および、閲覧方法が自動返信で届きます。

この活動を「公共イメージ向上作戦」と名付けております。今年度も継続していますので、各地区・クラブのご協力をお願い致します。

(Zone1 RPIC 渡辺敏彦)



ハイライトよねやま 198

2016年9月12日発行
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

寄付金速報 — 10月の米山月間に向けて —

8月までの寄付金は前年同期と比べて3.4%減（普通寄付金0.9%増、特別寄付金10.9%減）、約1,070万円の減少となりました。前年度よりは減少したものの、寄付累計額としては直近8年間のうち2番目に高い金額で、好調に推移しています。多くのロータリアンの方々からのご寄付に厚く御礼申し上げます。来月10月は米山月間です。当財団は内閣府より「公益財団法人」の認定を受けているため、当奨学会への寄付金には所得税、法人税の税制優遇が受けられます。相続税も非課税となります。詳細は当会ホームページをご覧ください。よろしくお願いいたします。

理事会・評議員会報告 — 新しい理事が選任されました —

理事会（8月18日開催）および定時評議員会（9月7日開催）が以下の通り開催されました。

第十二回理事会 議長：三井章義副理事長 出席者：理事26人 監事2人 陪席：1人

【主な議題】2016年度評議員候補者、理事・監事候補者、2015年度事業報告および附属明細書、2015年度計算書類、2016年度収支予算書一部修正・システム開発費の件、専門委員選任、定時評議員会招集、「株式受領関連規程」の件、「寄付金名称」の件：承認

第六回評議員会 議長：坂本俊雄評議員 出席者：評議員29人、常務理事・監事10人

【主な議題】2016年度評議員選任、理事・監事選任、2015年度計算書類および監査報告、定款変更：承認
また、評議員会での理事選任を受けて、決議の省略による理事会（書面決議）を開催し、以下の役員候補者が承認されました。

理事長：小沢一彦氏（2780）
副理事長：若林紀男氏（2660）・杉谷卓紀氏（2720）
常務理事：武田和夫氏（2800）・堀 東男氏（2820）・山崎淳一氏（2830）・水野功氏（2750）

GETSで米山学友がスピーチ

ガバナーエレクト研修セミナー（GETS）が9月5～6日、都内で開催され、2日午後の全体会議セッション「ロータリー米山記念奨学会プログラム」において、小沢一彦理事長と岩邊俊久事務局長が米山記念奨学事業の現況報告を行いました。続く「ロータリー学友からのメッセージ」のセッションでは、ロータリー平和フェローと共に、二人の米山学友、スリランカ出身でよねやま親善大使のスチッタ・グナセカラさんと、アメリカ出身で邦楽を研究するシュムコー、コリーン・クリスティナさん（2014-16/東京葛飾RC）が、スピーチをしました。



スチッタさん（左）とコリーンさん

スチッタさんは、自身がスリランカに設立した日本語学校からすでに69人の若者を日本留学に送り出したこと、その卒業生の中から米山奨学生になる学生が出たことなどを報告。「良いロータリーになっていませんか？ですから皆さん、もっと喜んでください」との彼の言葉に、会場は笑いと拍手に包まれました。また、コリーンさんは、三味線の実演で会場を湧かせながら、邦楽との出会いや“ロータリーは家族”との思いを語り、ロータリーとの交流をベースに彼女が作曲した邦楽曲などを披露しました。二人の発表に、会場の皆さんから惜しめない拍手が送られました。

タイ米山学友会が植樹活動



タイ米山学友会が7月30～31日、学友13人と、その家族・友人を合わせた計32人で植樹活動を行いました。

今回植樹をしたのは、タイ東北部にあるタプラーン国立公園で、2005年に世界自然遺産にも認定された公園です。地元市役所の協力を得て苗木60本を植え、水やりをしたほか、Y字型のゴムパチンコを使った種飛ばしには、子どもも大人も楽しみながら、競い合って遠くへと飛ばしました。

最後は全員でマッシュルーム工場を見学し、仲間同士の絆を一層深める1泊2日の活動となりました。

台湾学友会による日本人対象奨学金 第8期生が決定

台湾米山学友会（正式名称：（社）中華民国扶輪米山会）による台湾版米山記念奨学事業「日本人若手研究者奨学金」の第8期生が決定しました。6月末までの締切に8人の応募があり、台湾米山学友会理事会による選考の結果、合格者2人が決定しました。今年9月から1年間、台湾学友会から毎月25,000台湾ドル（約85,000円）が支給されるほか、学友会メンバーがカウンセラーとなって、台湾での留学生生活を物心両面で支えます。



小野 真帆さん

震災プロジェクトにより台湾へ留学。嘉義県の南華大学で勉強中。9月から国立台湾大学大学院国家発展研究科へ進学し、「アジア地域統合での台湾の苦境」を研究する。



伊藤 剛浩さん

9月から国立精華大学大学院へ進学。研究テーマは「高速に降水量予測を行うための数値演算加速器の研究」「次世代主記憶装置を有効に活用するための計算機アーキテクチャの研究」。

まもなく最新の米山月間資料が届きます！

最新の米山月間用資料を全ロータリークラブへお届けします（9月16日より発送開始、21日には到着予定）。クラブ会長およびクラブ米山奨学委員長は必ずお目通しください。ガバナー、ガバナーエレクト、評議員、理事、専門委員、地区米山奨学委員長・委員の皆さまにもお送りします。

【米山月間資料】

- ①豆辞典（必ず会員のみなさま全員へ配布してください）
- ②クラブ米山記念奨学委員長の手引き
- ③寄付金マニュアル ④事業報告書 ⑤事業報告書（統計・資料編）ほか



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
Tel: 03-3434-8681 Fax: 03-3578-8281

E-mail: highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL: <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>
編集担当: 野津(のづ)・峯(みね)

地区大会のご案内

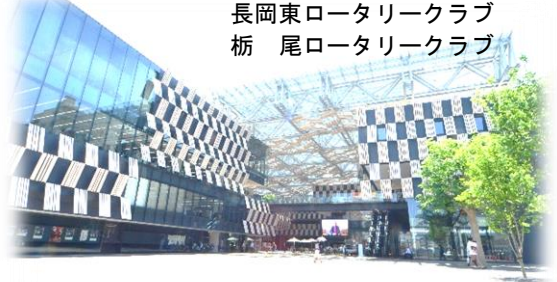
～基本を学び、地域と共に～

11月5日(土) 長岡グランドホテル

ガバナー補佐・地区委員長・会長・幹事会
国際ロータリー会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

RI 第 2840 地区 パストガバナー

ホストクラブ 長岡西ロータリークラブ
コ・ホストクラブ 長岡ロータリークラブ
長岡東ロータリークラブ
栃尾ロータリークラブ



登録開始 12:00～

開 会 16:50～

曾我 隆一 様

11月6日(日) アオーレ長岡

本会議 (午前の部)

登録開始 8:30～

本会議 (午後の部) 「地方の再生と日本の将来」

記念講演 15:00～

慶應義塾大学法学部 教授 片山 善博 様

レセプション (ロータリーのタベ)

開 会 16:50～

米山梅吉記念館便り

シリーズ② 米山梅吉の横顔

米山梅吉は、渡米資金を蓄える意図を持ち17歳で東京府吏員に採用されます。その後青山の東京美和学校入学、米人ニコール・バックに英語を学び、明治20年に銀座の福音会英語学校へ入学。正式に米山家へ入籍し米山姓を名乗り、年末渡米しました。19歳でした。

渡米して桑港福音会寄宿舎に寄寓し、青山学院長・本田庸一と出会います。部屋に押し掛け薫陶を受けていた様子ですが、ある時先生はしきりに「巧遅拙速」と、米山に見せるともなく書いていました。それに気付いた米山は自分の性格を察して「功を急ぐな」と戒められたと感じ入り、一生の座右の銘としました。



米山梅吉、在米当時、21歳頃

ボール・ハリスお手植え月桂樹2世が記念館に植えられています。
ボール・ハリスが昭和10年に来日したおり、帝国ホテル前庭にお手植えした月桂樹から育苗した2世が、記念館に植えられました。さらにこの木からの3世を現在生育しています。

米山梅吉関連図書の紹介



A5判 上製本ケース付
本文590ページ/4,000円

米山梅吉伝

出生から晩年まで、さらに三井銀行、青山学院、三井報恩会、ロータリー関係者、生前の米山と親交があった人達の証言を交えて、様々な角度から米山の人となりをかき上げ上がらせています。「梅吉を知るにはまずこの本から」の1冊です。和歌や俳句、漢詩など、趣味の人米山の一面を知る事もできます。

公益財団法人 米山梅吉記念館

〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1

TEL:055-986-2946 FAX:055-989-5101

URL <http://yoneyama-umekichi.jp>

Email: yumh@ai.tnc.ne.jp

【開館時間】午前10時～午後4時

【休館日】月曜日/12月28日～1月4日/整理のための休館日(5月・8月の特定日)



文庫通信 (349号)

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー情報

- ◎「ロータリーは今や末法時代か」 塚原房樹 2016 2p (D.2510月信)
- ◎「ロータリーは難しいか？」 櫻木英一郎 2016 2p (D.2790月信)
- ◎「慣例と変革」 櫻木英一郎 2016 1p (D.2790月信)
- ◎「奉仕について」 片岸修次 1998 6p (ロータリーの葉)
- ◎「Object of Rotaryの解説、私のロータリーに対する考え方」 野田三郎 2016 2p (私の足跡)
- ◎「あなたはなぜロータリークラブに入会するのか？」 刀根荘兵衛 2016 4p (D.2650月信)
- ◎「ロータリークラブにおける会員増強、果たして必要なのでしょうか？」 久保田晋平 2016 1p (D.2700月信)
- ◎「ロータリーの正義(Ⅱ)」 田渕水作夫 2016 66p
- ◎「ロータリーの誕生と成長の物語ーポール・ハリスのロータリー1935年を中心にして」 穴井元昭 2016 41p
- ◎「ロータリーとは何か」 常盤太助 1996 10p (ロータリーの心)

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3 階
 TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
 開館＝午前 10 時～午後 5 時 休館＝土・日・祝祭日